



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 株式会社アイ・エス・ビー

上場取引所 東

コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 逸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 竹田 陽一 TEL 03-3490-1761

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	10,992	26.5	583	12.3	601	13.5	325	△9.8
2018年12月期第2四半期	8,688	5.5	519	35.0	529	37.8	360	90.3

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 334百万円 (△2.6%) 2018年12月期第2四半期 343百万円 (63.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	63.75	—
2018年12月期第2四半期	70.70	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	11,880	6,359	53.5
2018年12月	9,955	6,185	62.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 6,352百万円 2018年12月期 6,185百万円

※ 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正 (企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2019年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	29.0	950	9.3	980	6.8	580	6.1	113.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期2Q	5,105,800株	2018年12月期	5,105,800株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	7株	2018年12月期	7株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期2Q	5,105,793株	2018年12月期2Q	5,105,794株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3ページ「連結予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

以 上

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に、雇用および所得環境に改善が見られ、個人消費の持ち直しもみられるなど、総じて緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

世界経済においては、米国の保護主義的な通商政策による米中貿易戦争の影響等により、中国経済の景気は減速しており、さらには英国のEU離脱が先行き不透明であることなど、景気減速のリスクは高まりつつあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、大手企業を中心としたIT関連投資は引続き高い水準にあり、好調な企業収益を背景に、様々な業種でAIやIoT、RPA等の新しいサービス・技術の活用が始まっております。また、人手不足に対応した業務の効率化や自動化に対応するため、従来のシステムに対する機能追加や改修等の、IT関連投資も引き続き堅調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社グループは今年で2年目となる、中期経営計画の重点施策を着実に推進するとともに、引き続き顧客市場の動向に注視しながら積極的に幅広い業種からの受注獲得に注力してまいりました。

また、当社グループに、新たに3社を加え、積極的な事業展開を図り事業規模の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高109億92百万円（前年同四半期比26.5%増）、営業利益5億83百万円（前年同四半期比12.3%増）、経常利益6億1百万円（前年同四半期比13.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億25百万円（前年同四半期比△9.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報サービス分野では、医療、車載、家電業務を中心に「組込み」が堅調に、「業務システム」、「フィールドサービス」は、旺盛なIT投資を背景に企業向けのシステム開発業務やそれらに付随するサーバ・ネットワーク構築業務が順調に伸び、「公共」は、自治体を中心にした改元対応により堅調に推移いたしました。新規連結会社による売上高の増加額を除いても前年同四半期を上回って推移いたしました。一方で「携帯端末」は、メーカーによるスマートフォンの開発機種数の減少の影響等をアプリ開発業務で補うべく注力してまいりました。「モバイルインフラ」は、基地局の開発縮小の影響が大きく、前年同四半期を下回る結果となりました。

プロダクト事業においては、引き続き販売につながるよう営業活動に鋭意注力して取り組んでおります。

グループ経営戦略の推進およびパートナー企業との連携等や新規連結会社の影響により、セグメント利益は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当事業における売上高は91億34百万円（前年同四半期比32.2%増）、セグメント利益は4億5百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

(セキュリティシステム事業)

セキュリティシステム事業は、出入管理、入退室管理システムおよび施工等、総じて順調に推移いたしました。また、「建設キャリアアップシステム (CCUS)」についても一定の成果が出始めており、売上高は前年同四半期を上回りました。

研究開発費が前年同四半期に比べ減少したことにより、セグメント利益は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当事業における売上高は18億58百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は1億65百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末において、資産は、118億80百万円と前連結会計年度末より19億24百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金やのれん、差入保証金等の増加額が、商品や仕掛品、その他等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、55億20百万円と前連結会計年度末より17億51百万円増加いたしました。これは主として短期借入金や未払金、長期借入金等の増加額が支払手形及び買掛金や未払法人税等の減少額を上回ったことによるものであります。

純資産は、63億59百万円と前連結会計年度末より1億73百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加額が、為替換算調整勘定等の減少額を上回ったことによるものであります。

なお、自己資本比率は 53.5%と8.6ポイント低下いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2億20百万円の増加となり、前連結会計年度末（2018年12月31日）の資金残高35億34百万円を受け、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は37億54百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は7億88百万円の増加となりました。この増加は主として売上債権の減少額5億8百万円、未払金の増加額42百万円、減価償却費66百万円、のれん償却額2億48百万円、税金等調整前四半期純利益6億1百万円等の資金の増加要因が、法人税等の支払額3億77百万円、仕入債務の減少額1億61百万円等の資金の減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は10億22百万円の減少となりました。この減少は主として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出10億72百万円、有形固定資産の取得による支出48百万円等の資金の減少要因が、保険積立金の解約による収入80百万円等の資金の増加要因を上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は4億56百万円の増加となりました。この増加は主として短期借入金の純増減額9億97百万円等の資金の増加要因が、長期借入金の返済による支出3億56百万円、配当金の支払額1億67百万円等の資金の減少要因を上回ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第2四半期累計期間の売上高は概ね期首予想水準であり、各段階の利益も期首予想を上回って推移しておりますが、2019年12月期の連結業績予想につきましては、2019年2月14日に公表いたしました予想数値を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,550,660	3,773,444
受取手形及び売掛金	3,628,640	3,628,117
前払費用	95,567	132,213
商品	408,283	402,442
仕掛品	208,481	184,081
貯蔵品	1,689	3,189
その他	62,910	141,251
貸倒引当金	△29,665	△31,692
流動資産合計	7,926,567	8,233,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	413,627	448,610
減価償却累計額及び減損損失累計額	△277,640	△297,800
建物及び構築物 (純額)	135,986	150,809
土地	605,084	605,084
その他	501,381	534,275
減価償却累計額及び減損損失累計額	△406,966	△411,136
その他 (純額)	94,414	123,138
有形固定資産合計	835,486	879,033
無形固定資産		
のれん	354,604	1,885,811
その他	141,685	103,173
無形固定資産合計	496,290	1,988,985
投資その他の資産		
投資有価証券	374,293	391,376
長期前払費用	5,279	5,139
差入保証金	166,778	229,098
会員権	11,600	14,150
繰延税金資産	88,652	86,567
その他	61,166	61,624
貸倒引当金	△10,400	△8,812
投資その他の資産合計	697,371	779,142
固定資産合計	2,029,148	3,647,161
資産合計	9,955,715	11,880,209

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,265,632	1,153,669
短期借入金	830,000	1,827,540
未払金	473,740	844,350
未払費用	59,434	87,286
未払法人税等	271,385	221,362
未払消費税等	170,931	222,869
賞与引当金	17,196	17,659
役員賞与引当金	27,460	22,696
受注損失引当金	18,058	884
その他	199,357	558,980
流動負債合計	3,333,196	4,957,298
固定負債		
社債	-	28,000
長期借入金	-	67,471
退職給付に係る負債	187,084	201,275
役員退職慰労引当金	186,200	185,544
資産除去債務	58,467	72,017
その他	4,929	9,344
固定負債合計	436,681	563,653
負債合計	3,769,878	5,520,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,707,526	1,707,526
資本剰余金	2,311,704	2,311,704
利益剰余金	2,099,556	2,256,564
自己株式	△6	△6
株主資本合計	6,118,780	6,275,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,803	109,301
為替換算調整勘定	△30,746	△32,828
その他の包括利益累計額合計	67,056	76,472
新株予約権	-	6,996
純資産合計	6,185,837	6,359,257
負債純資産合計	9,955,715	11,880,209

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,688,316	10,992,447
売上原価	6,840,006	8,395,699
売上総利益	1,848,309	2,596,748
販売費及び一般管理費	1,328,694	2,013,086
営業利益	519,615	583,662
営業外収益		
受取利息	42	2,008
受取配当金	8,140	10,292
保険解約返戻金	2,654	7,786
受取保険金	-	10,000
その他	3,670	3,824
営業外収益合計	14,507	33,912
営業外費用		
支払利息	2,095	6,219
新株予約権発行費	-	6,350
その他	2,377	3,678
営業外費用合計	4,473	16,248
経常利益	529,649	601,326
税金等調整前四半期純利益	529,649	601,326
法人税、住民税及び事業税	123,646	261,894
法人税等調整額	45,036	13,932
法人税等合計	168,682	275,826
四半期純利益	360,966	325,499
親会社株主に帰属する四半期純利益	360,966	325,499

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	360,966	325,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,577	11,497
為替換算調整勘定	△397	△2,081
その他の包括利益合計	△16,975	9,415
四半期包括利益	343,991	334,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,991	334,915

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	529,649	601,326
減価償却費	74,340	66,315
のれん償却額	75,963	248,564
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△47,778	719
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,850	△8,790
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,283	△4,764
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△4,770	△17,174
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,282	14,739
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16,291	△42,056
受取利息及び受取配当金	△8,182	△12,301
支払利息	2,095	6,219
売上債権の増減額 (△は増加)	127,935	508,197
たな卸資産の増減額 (△は増加)	99,862	30,050
仕入債務の増減額 (△は減少)	44,846	△161,662
未払金の増減額 (△は減少)	42,668	42,844
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△324	△17,266
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△302	△103,698
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	63,842	6,071
その他	53,412	△7,946
小計	1,089,966	1,149,389
利息及び配当金の受取額	8,072	12,710
利息の支払額	△2,077	△6,161
保険金の受取額	-	10,000
法人税等の支払額	△81,532	△377,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,014,428	788,716

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,703	△48,563
無形固定資産の取得による支出	△29,947	-
投資有価証券の取得による支出	△2,951	△1,997
保険積立金の解約による収入	-	80,551
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,072,047
長期前払費用の取得による支出	△1,176	△624
長期貸付金の回収による収入	-	36,629
その他	△15,936	△16,511
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,715	△1,022,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	997,540
長期借入金の返済による支出	-	△356,196
社債の償還による支出	-	△21,375
リース債務の返済による支出	△3,670	△2,914
配当金の支払額	△127,299	△167,963
新株予約権の発行による収入	-	6,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,969	456,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	△377	△1,954
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	817,365	220,284
現金及び現金同等物の期首残高	2,650,883	3,534,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,468,249	3,754,564

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	6,910,325	1,777,990	-	8,688,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43,527	2,088	△45,616	-
計	6,953,852	1,780,079	△45,616	8,688,316
セグメント利益	370,861	140,649	8,104	519,615

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	9,134,038	1,858,409	-	10,992,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,879	1,718	△43,598	-
計	9,175,917	1,860,128	△43,598	10,992,447
セグメント利益	405,766	165,531	12,363	583,662

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス」セグメントにおいて、株式会社テイクスおよびコンピュータハウス株式会社の発行するすべての株式を取得し（株式会社テイクスは間接保有）、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、1,601,794千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。